

(2) 地域教育推進地区

① 目的

豊かな人間形成をめざしてじゅうぶんな教育効果をあげるために、同じ地域にある小・中学校教育のあり方、学校と家庭・地域社会との協力のあり方等について実践的な研究を行い、地域教育の推進、学力の向上を図る。

管内	地域	学校	校長名	研究主題
県中	郡山市片平地区	片平小学校	小石沢正勝	自ら学ぶ態度を育てるための地域ぐるみの教育
		片平中学校	石塚 忠光	
いわき	いわき市藤間地区	高久小学校	櫻村富三郎	自主的学習態度を育てるための学校と家庭の協力のあり方
		夏井小学校	菅沼 公夫	
		藤間中学校	広田 徳一	

○ 学校名 福島県立福島中央高等学校

○ 指定期間 昭和48年度、49年度の2か年間

○ 研究主題 生徒の勤労や生活の状況、地域の実情などに即して生徒の就学および修学促進をどのように図るべきか。

(2) 福島県教育委員会指定

① 教科指導関係

ア、目的

本県県立学校生徒の学力向上のため、各教科の学習指導に関する研究を通して、現職教育の充実に努力し実践的な研究を委嘱して、この点について深めることを図った。

なお、その研究成果を広く県内各校に普及し、生徒の学力向上に資するよう「研究成果」を作成し各県立学校に配布した。

イ、研究期間 48年度1か年間

ウ、学校名、教科・科目、研究主題

教科・科目	学校名	研究主題
国語	県立白河農工高校	実業高校における作文指導の実際
社会	〃 棚倉高校	学習指導法の改善—社会科特に地理学習において野外調査をどのように指導するか
数学	〃 湯本高校	数学の学力実態の分析とそれに適応した指導法について
理科	〃 磐城女子高校	探究の過程を重視した指導法の研究—展開案を中心として—
音楽	〃 浪江高校	「音楽Ⅰ」の主体的学習をはぐくむための授業研究—歌唱鑑賞—
美術	〃 内郷高校	デザイン以前における立体の造形学習について
英語	〃 南会津高校	外国語教育の困難点はどこにあるか
家庭	〃 安達東高校(針道)	被服製服における指導法の工夫—ひとえ長着の製作を通して—
農業	〃 会津農林高校	総合実習指導の改善について
工業	〃 小高工業高校	新教育課程による化学工学実習の指導法について
商業	〃 郡山商業高校	「事務機械」における電子計算機の学習指導について

② 生徒指導関係

ア、目的

生徒の現在ならびに将来における適応や自己実現および道徳性の発達に関する問題を解決し、望ましい習慣形成のための指導を徹底させていくために、学校教育における生徒指導上の諸問題について調査研究を行い、その成果を広く県内各学校に普及させ本県の生徒指導の向上に資する。

イ、研究期間

47年～48年、48年～49年の2か年間

ウ、学校名、研究主題、発表会日時、参加者数等

〔高等学校教育課〕

1. 教科別学習指導法現代化研究協議会

(1) 目的

高校への進学率の上昇に伴い、生徒の能力、適性等が多様化し、生徒の能力等の発見と開発を進めるための個別指導の充実・強化が高校教育における緊急な課題となった。この課題にこたえるために県立学校教員を対象として、研究協議会を開催し、教科の特性に応じた学習指導法の質的な改善を図ることを目的とする。

(2) 研究課題〔個別指導の徹底〕

(3) 会場・期日・参加人数

- ① 県南地区(安女高) 1月23日(休)
安積高(社会、36名 英語、41名) 安女高(家庭、28名) 郡女高(音楽、14名)
- ② 会津地区(若女高) 1月28日(月)
会女高(理科、29名)
若女高(音楽、13名 美術、9名 家庭、26名)
- ③ 相双地区(相双地区) 1月17日(木)
相農高(社会、18名 数学、16名)
原町高(国語、17名 美術、6名)

(4) 講師

東京教育大学教授 金子 孫 市
高等学校教育課 担当指導主事
学校教育指導委員 五十嵐 大典、小荒井 要

(5) 日程

授業参観(50分) 授業研究(50分)
講演(90分) 研究協議(50分)
演題「教育機器の利用と学習の個別化について」
研究協議は講演の内容について、深く掘り下げを行い、質疑等がなされた。

2. 各種研究指定校

(1) 文部省指定

高等学校教育課程研究指定校

- 学校名 福島県立磐城高等学校
- 指定期間 昭和48年度、49年度の2か年間
- 研究主題 「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」における絵画または彫塑の指導。

定時制・通信制教育研究指定校